

中 富 総 第 1 3 8 号
平成20年10月14日

国 土 交 通 省 道 路 局 長 様

中富良野町長 四 方 昌 夫



今後の道路行政にかかる意見書の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃より本町の道路事業にあたり特段のご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号で、ご依頼のありました件につきまして、別紙のとおり意見書を提出しますので、よろしくお願いいたします。

中富良野町役場総務課情報管理係
TEL 0167 - 44 - 2122
FAX 0167 - 44 - 2127
E - mail : soumu@nakafurano.jp

① 道路行政全般についての改善すべき点、要望や提案など

北海道中富良野町

我が国の道路事情は、欧米先進国に比べ質・量ともに劣っているとされておりますが、北海道においては広大な土地を有し、かつ、恵まれた資源を生かした開発が期待されている中で、これまでの道路計画、整備・運用手法は、北海道の多様な地域特性に必ずしも柔軟に対応できるものではありませんでした。

このため、国土の均衡ある発展と活力ある地域づくりを一層推進し、道民生活の向上を図るうえからも、北海道の魅力を活かしつつ地域の課題に対応できる方法での道路網の整備、充実が必要でありますので、次の事項について重点的に要望いたします。

- ・地域の生活、産業、交流において中心的な役割を担っている拠点都市を結ぶ高規格幹線道路の一層の整備促進を要望いたします。
- ・広域分散型社会の北海道における社会生活圏の拡大、高次医療圏の確保等の医療・福祉面、十勝岳噴火代替道路として防災面等で幅広く多様な効果が期待できる地域高規格道路「旭川十勝道路」の整備を要望いたします。
- ・地域内の道路づくりにおいては、これまでの走行性能の重要視のみではなく、北海道の魅力を満喫できることも視点におき娯楽性を考慮した道路空間の整備を要望いたします。
- ・積雪寒冷地域である北海道の冬期交通の安全を確保するため、計画的な交通環境の改善にかかる必要な予算の確保を要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道中富良野町

○ 現状

中富良野町が管理する町道は、約270kmあり、近年の地方交付税の削減により、厳しい財政運営の中においても道路の維持補修や除雪・排雪など生活に密着した部分については堅持しなくてはなりません。また、橋梁や道路など現在でも老朽化が進んできた道路ストックについての更新や長寿命化などの手当てについては相当困難な状況にあります。

○ 課題

当地域は、北海道有数の観光地帯であり、夏の観光シーズンには渋滞が頻繁に発生し、その緩和が求められております。また、国道においては歩道が未設置の区間があり、町道の主要幹線においても車道が先行して整備されたため、交通量の増加により歩道の再整備の必要性が一層高まっております。このように安全と安心を高めるための観光地周辺の交通円滑化対策は、国、北海道、関係市町村のさらなる連携強化が必要で、幹線道路と生活道路の整備が大変重要な課題となっております。

②-2 地域の目指すべき将来像

北海道中富良野町

富良野圏域は、活力がある快適でゆとりと魅力のある農村社会の形成、四季を通じて自然とのふれあい、地域資源や地域特性を生かした観光振興に向けたまちづくりに取り組んでおり、基幹となる農業においては、玉葱・人参・軟弱野菜などの付加価値の展開に取り組み、産地間競争や消費者ニーズに即応した輸送体系の確立、観光においては豊かな自然環境を生かした滞在型拠点観光の確立を目指しており、ます。これらを一層発展させるためには、高速・広域ネットワークによる道路交通体系の形成が大変重要であり、北海道の高速道路網である、北海道縦貫自動車道・北海道横断自動車道と結節する地域高規格道路「旭川十勝道路」の整備促進は、これら地域の目指すべき将来像に必要不可欠であります。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

北海道中富良野町

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・ 地域の実情にあった必要な道路整備を進める計画の策定	・ 地域の魅力を活かし、力強いものにすためには、地域の特性を十分に反映でき、かつ、行政と地域住民及び道路利用者が協働して道路計画、整備、運用を進めていくことが重要であります。	・ 既存道路の有効活用を図るなどの柔軟な整備手法の導入により、社会情勢の変化に対応できる道路整備を促進させることで、広域及び地域内のモビリティ向上と魅力ある道路空間の実現を目指すことが期待できます。	・ 地域高規格道路は、中核都市と地方都市とを結ぶ重要かつ生活に密着した道路であり、地方が中核都市と同レベルで、極端な制約を受けないためにはその整備が必要不可欠であります。このため経済効果を優先させた道路ばかりではなく、本来に必要な都市間を結ぶ道路の整備促進を強く望むものであります。